

## 「こどものまち」開催レポート



**日時・場所** : 2013年5月5、6日 10:00~16:00 @二子玉川ライズ・ガレリア  
**主催** : クリエイティブ・シティ・コンソーシアム キッズWG 二子玉川しあさってプロジェクト  
**協力** : 二子玉川商店街振興組合、二子玉川ライズ

ワークショップ(WS)・ひろば演目:

- |                         |                    |
|-------------------------|--------------------|
| (1)  미래の「まち」お絵かきWS      | : NPO法人CANVAS      |
| (2)  未来の「いえ」づくり体験WS     | : NPO法人CANVAS、渡部屋  |
| (3) 「絵本のチカラプロジェクト」塗り絵WS | : ジャパンライフデザインシステムズ |
| (4)  ひろばコンサート、楽器体験WS    | : 島村楽器             |
| (5) 「機関車トーマス」コラボブース出展   | : CIAOPANIC TYPY   |

連携キッズアート展示作品

- |            |  |
|------------|--|
| 「にこたまっぷ」   | : 二子玉川商店街アート&マート/こども造形教室               |
| 「いろ色あゆぐるみ」 | : 二子玉川商店街アート&マート/たかつ大山街道1000匹のあゆプロジェクト |
| 「マタコニコタマ」  | : 二子玉川商店街アート&マート/こども造形教室               |
| 「大きな筒」     | : 二子玉川商店街アート&マート ラクガキ隊                 |

### イベントの概要と設定テーマ

2013年5月5、6日、世田谷区二子玉川周辺で次世代の都市の在り方を考える産学連携コンソーシアム「クリエイティブ・シティ・コンソーシアム」のなかで「地域×こども×未来」を考えるキッズWG「二子玉川しあさってプロジェクト」では、こどもが体験を通じて未来のまちを考えるワークショッププログラム「こどものまち」を開催いたしました。

ゴールデンウィーク終盤となる両日とも、地域及び近隣居住者を中心として多数の親子が来場し、ワークショップへの参加やひろば演目の観覧がなされ、会場の二子玉川ライズはこどもの笑顔と歓声に包まれた二日間となりました。



今回のイベントでは、5月中盤に開催予定となっている、次世代の街に必要な地域ベースの世代間リレーションのあり方を考える検討会「二子玉川しあさってプロジェクト」の事前のイベントとして、「地域関係団体をはじめ大規模商業施設やさらには地域外でこども関連プロジェクトを進める企業等との連携強化・コラボレーションにより、二子玉川における地域社会交流・こどもの知的創造の取り組みを発展強化させることができるか」をテーマとする社会実証的な側面をもちつつ企画・実施されました。「二子玉川しあさってプロジェクト」では、今回のイベントで得られた知見やネットワークを元に、今後のより発展的な展開にむけた活動を、勉強会を中心に進めていく予定です。

## (1) みらいのまち お絵かきWS (NPO法人CANVAS)



今回の「こどものまち」のなかのメインワークショップとして、街をかたちづくる「おみせ」「のりもの」「かわ」「はたけ」などの各要素の未来の姿をテーマに、ワークショップサポーターのアシストのもと自由に布やベニヤ板にお絵かきをしていく随時参加型のワークショップが展開されました。

イラストで埋め尽くされた布やベニヤは、こどもたち自身の手によって運ばれ、大工さんと作る「いえ」の屋根となったり、「いえ」の前の「道」として会場内での展示が進められます。また、2日目には、大工さんと一緒に組み上げられた「いえ」に出入りし遊びながら、その壁をキャンバスとして、直接に「いえ」を自由なイラストで埋めていく形式で、お絵かきワークショップが進められました。

自分が考え描いたものが街の風景を形作る、という体験を通じ、こどもは街をより身近に感じ、街はこどもの力を再認識していきます。



## (2) みらいの「いえ」づくり体験WS (NPO法人CANVAS、渡部屋)

NPO法人CANVASと東京蔵前のゲストハウス「Nui. HOSTE & BAR LOUNGE」の施工などで高い評価をえている大工チーム渡部屋のコラボレーションにより、こどもが木材を組み合わせていき「いえ」を作り上げていくワークショップが進められ、今回の「こどものまち」の大きなシンボルとなる「いえ」が組み上げられました。「兼ねてからこどもが建築の現場を体感できる場をつくってみたいかった」と渡部屋大工チームの熱い思いにより実現した特別ワークショップとして、こどもたちは大工さんやワークショップサポーターの協力をうけ、家のパーツとなる木材を運び設置していきました。完成した「いえ」のなかには階段が設けられ、屋根の上からワークショップ会場全体を見渡せる演出がなされ、壁面へのお絵かきと併せて大盛況のワークショップとなりました。



### (3) 「絵本のチカラプロジェクト」塗り絵WS (ジャパンライフデザインシステムズ)

地域発の取り組みから子どもと地域社会の未来を発展させていくことを目標としたときに、地域は外部にある一般企業とどのようなかたちでのコラボレーションをすることができるだろうか。今回のワークショップでは、クリエイティブ・シティ・コンソーシアムに所属する企業を中心としたトライアル的な試行検討のなかで、独自の事業として「絵本のチカラプロジェクト」を進めるクリエイティブ・シティ・コンソーシアム法人会員のジャパンライフデザインシステムズによるワークショッププログラム展開が進められました。

「絵本のチカラプロジェクト」でジャパンライフデザインシステムズが発行する教育・啓発的なストーリーをベースとした絵本に、子どもが直接塗り絵で色を付けていくワークショップが実施され、多くの来場者が参加しました。

企業が展開する事業や、保有するノウハウ等を、実際に子どもたちがどのように受け取り、解釈するか、は企業側にとっては得難い情報となります。

「子ども×街」の取り組みの地域実践の特徴を活かした企業活動とのコラボレーションを今後も模索していきます。



### (4) ひろばコンサート、楽器体験WS (島村楽器)

ワークショップの中央、まちの「ひろば」のスペースでは、まちの「デキゴト」として、様々なステージ演目が展開されました。そのなかで、会場となった二子玉川ライズS.C.に所在する「島村楽器」にて、音楽教室講師による演奏や、教室生徒の発表会などのコンサートが実施されました。

地域周辺から音楽教室に通う生徒のネットワークを中心に、多くの地域住民がコンサートの様子を見学に来場しました。



また、フルートやトランペット、ウクレレなど、普段触れる機会のない楽器に直接触れ、音を出してみる「楽器体験」のワークショップが子どもを対象として実施されました。

### (5) 「機関車トーマス」コラボブース出展 (CIAOPANIC TYPY)

二子玉川ライズS.C.に所在するアパレル店「CHAOPANIC TYPY」がキッズ向けアニメ「機関車トーマス」とのコラボレーションTシャツ販売を進めており、今回の「こどものまち」ワークショップの「のりもの」のコーナーにブース出展しました。

ブース内では、写真撮影スポットの展開や、トーマスチョロQで遊べるスポットの設置が行われ、多くの子どもたちでにぎわいました。

ワークショップ会場から、S.C.内店舗への誘導も積極的に図られ、コラボレーションTシャツの買い上げ促進がなされました。



## 連携キッズアート作品展示

「二子玉川しあさってプロジェクト」では、こどもに関わる地域活動の横連携を一つのテーマに掲げています。「こどものまち」ワークショップでも、ワークショップに先駆けて4月29日に実施された二子玉川商店街振興組合が展開する「二子玉川商店街アート&マーケット」で、地域のこどもの手により作成されたアート作品を、商店街から借り受け展示し、こどもの創作活動の可視化・地域連携強化にトライアルしています。

### 「にこたまっぷ」：二子玉川商店街アート&マーケット/こども造形教室

アート&マーケットの事前ワークショップで近隣のこどもたちによって作成され、アート&マーケット当日は商店街に展示された巨大なペイントオブジェです。二子玉川周辺の地図や路線図などが埋め込まれた下地の布に、こども造形教室のワークショップファシリテーターの元、体全体を使ってのびのびとした描画・コラージュが進められ、作成されました。

巨大で力強い造形作品は、「こどものまち」の入口横に大きく展示され、イベントのよきアイキャッチとして機能するとともに、商店街と再開発エリアの連携取り組みとして来場者の目を集めました。



### 「いろ色あゆるみ」：二子玉川商店街アート&マーケット/たかつ大山街道1000匹のあゆプロジェクト

二子玉川とは多摩川を挟んで神奈川県側の高津を拠点に活動される「たかつ大山街道1000匹のあゆプロジェクト」がアート&マーケットでこどもたちが作成した「あゆるみ」を展示いたしました。高津や二子玉川を通るかつでの「大山街道」では、あゆを運ぶ交易路としての側面をもっていました。今回の「こどものまち」では、あゆるみを二子玉川の地図や道をモチーフにしたに「こたまっぷ」と併せて展示し、地域の歴史をこどものアートから再認識する演出をいたしました。



### 「マタコニコタマ」：二子玉川商店街アート&マーケット/こども造形教室

「にこたまっぷ」ワークショップのファシリテーションをしたこども造形教室によって、二子玉川の風景の上にこどもがペイントをするアートワーク「マタコニコタマ」がアート&マーケットで作成され、「こどものまち」の会場で展示されました。「マタコニコタマ」のネーミングは、二子玉川への再来訪を呼びかける呼称からとられていますが、今後アートワークのうちの数点は、街のなかの街路タイル等への利用が検討されています。



### 「大きな筒」：二子玉川商店街アート&マーケット ラクガキ隊

二子玉川商店街アート&マーケットの大きな取り組みとして、商店街の道路上にこどもたちがチョークでラクガキをし、お祭り終盤に一齐に消すという「ラクガキ隊」といわれる演出があります。「大きな筒」は道路上のラクガキに併せて、道路に転がされた大きな筒にこどもたちが自由にラクガキをしていくものです。今回の「こどものまち」では、アート&マーケットを象徴する演出の一部である「おおきな筒」を、ひろばステージのオブジェとして展示し、商店街とこどものまちの両ひろばのつながりが演出されました。





WGでは、ゴールデンウィークのイベント開催後、コンソーシアム会員、地域・学校関係者、行政関係者などを集めて年間3回程度のワークショップ（勉強会）をカタリストBAで開催し、二子玉川地域でこども関連の取り組みを行う関係者のネットワークをつくとともに、地域のこどもに関わる課題やニーズを把握しアイデアをとりまとめていきます。

また、一連の取り組みを可視化し、地域のこども関連情報をアーカイブするためにwebサイトを作成し、情報を発信していく予定です。

遠い未来の話でもない、今を知るだけでもない。おおきな果てない夢を大事にしながらも、ちょっと先のより良いこれからをカタチをしていく。そんなプロジェクトにしていきます。



### クリエイティブ・シティ・コンソーシアム

2010年8月設立。二子玉川地域をモデルに、クリエイティブな人材、産業が集まる都市環境の創出に向けた活動を行っています。2013年4月現在、法人会員82社、学会会員18名、研究会員2名、個人会員6名、後援会員17団体。

<http://creative-city.jp/>



### NPO法人CANVAS

2002年11月設立。「こどものための創造の場と表現の場を提供し、豊かな発想を養う土壌を育てる」ことを目指し、ワークショップ等こどもたちの活動の場の提供とその活動の普及に努めています。

<http://www.canvas.ws/index.html>



### カタリストBA

二子玉川ライズ・オフィス内のクリエイティブ・シティ・コンソーシアムの活動拠点。クリエイターのシェアオフィスを併設し、企業が持つ技術・資源と個人のアイデアをマッチングさせる「オープンイノベーションイノベーション」の場。

<http://catalyst-ba.com/>